

# 甲賀市の財政状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成30年度決算に基づく甲賀市の健全化判断比率および資金不足比率を公表します。

## ■全項目で健全化基準をクリア

健全化判断比率および資金不足比率が一定の基準値を超えた場合、改善が必要な状態とみなされ、財政健全化計画を策定することなどが義務付けられます。算定の結果、これまでの市債の発行抑制や繰上償還の実施、新規借入の際には交付税措置の手厚い事業に厳選するなど、財政の健全化に向けた取り組みの継続、地方公営企業等の元利償還金の減少などにより実質公債費比率は0.9ポイント、将来負担比率は14.4ポイント改善しました。自主的な改善努力が求められる早期健全化基準とは大きく離れており、健全な状態を保っています。今後、限られた財源を効果的に活用するとともに、一層の財政の健全化に向けた取り組みを進めていきます。

## ■健全化判断比率

指標	平成30年度	平成29年度	早期健全化基準【イエローカード】	財政再生基準【レッドカード】
実質赤字比率 (一般会計などの赤字の割合)	赤字なし <b>健全</b>	赤字なし	12.1%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字の割合)	赤字なし <b>健全</b>	赤字なし	17.1%	30%
実質公債費比率 (1年間の収入に対して返済する借金が占める割合)	9.1% <b>改善</b> (昨年より0.9%)	10%	25%	35%
将来負担比率 (財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合)	59.6% <b>改善</b> (昨年より14.4%)	74%	350%	-

## ■資金不足比率

指標	平成30年度	平成29年度	早期健全化基準【イエローカード】
資金不足比率 (公営企業の資金不足割合)	資金不足なし <b>健全</b>	資金不足なし	20%

問合せ 財政課 財政係 ☎69-2124 ☎63-4561

平成30年度甲賀市一般会計および各特別会計決算、基金の運用状況、公営企業会計決算、財政健全化および経営健全化判断比率について、審査に付された各会計の決算書および付属書類等を審査したところ、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ計数も正確で、適正に執行されているものと認めました。一般会計・特別会計は黒字を維持し、公営企業会計については病院事業会計に純損失があるものの、その他の会計では純利益を計上しています。財政健全化判断比率および



**決算審査報告**  
監査委員 山本哲雄、白坂萬里子

各企業会計の資金不足比率も良好な状態にあると認められます。財政運営にあたっては、税・料金等の確保、収納向上対策等による未収金のさらなる縮減を進める一方、各施策や事業の緊急性、有効性等を見極めたうえで、限られた財源の効果的な経費支出を図ることにより、「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことが求められています。本市では今後NHK連続テレビ小説の放送、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン、第72回全国植樹祭開催と本市の魅力を全国、世界に発信できる機会に恵まれています。この機会を千載一遇のチャンスと捉え、地域経済全体への波及効果を生み出す取り組みをはじめ、国内外の社会経済環境や時代の潮流を見誤ることなく的確に読み取り、組織の現状分析・改善を持続的に展開しながら、市民福祉の充実・向上を最優先とし、いつもの暮らしに「しあわせ」を感じ、まちなかとして、市民の皆様とともに輝く未来を実現されることを期待するものであります。

※8月16日付  
市長へ決算審査報告

問合せ 監査委員事務局 ☎69-2261 ☎63-4577

## 平成30年度の主な事業

平成30年度に実施した事業の成果の一部を紹介します。

詳細は、市ホームページ「甲賀市の決算」に掲載しています。



重症心身障害者  
通所施設整備事業  
1億2,607万円



甲賀圏域の重症心身障がい者の日中活動を行う通所施設を整備するため補助を行い、4月に「障がい者支援センターかがやき」が開所しました。

全国植樹祭誘致推進事業・  
全国植樹祭整備事業  
142万円



広く森林・林業への関心を高めるとともに、本市の魅力为全国へ発信する機会となるよう、令和3年春、滋賀県で開催される「第72回全国植樹祭」の主会場誘致に取り組み、「鹿深夢の森」が主会場（式典会場）に決定されました。

海外都市友好交流推進事業  
206万円



中国湖南省張家界市と友好都市提携を行い、忍者をはじめとする本市特有の資源を現地でPRするなど、観光振興および産業振興につながる取り組みを進めました。

歴史文化都市構築補助事業  
1,604万円



観光誘客や観光消費額の拡大につながる旅行商品の開発や販売、また地域資源を生かした取り組み等、歴史文化都市構築に向けた事業に対する補助金により、民間活力を活用した観光振興を図りました。

小中学校空調設備整備・  
トイレ改修事業  
7億476万円



小中学校の普通教室等の空調設備を小学校9校、中学校2校で実施するとともに、小学校4校のトイレ改修を実施しました。

ICT教育環境整備事業  
(小中学校)  
2億2,720万円



市内小中学校でPC教室機器の更新、児童生徒用タブレット端末、デジタル教科書、教室の無線LAN環境を整備しました。また、ICT活用を援助する支援員を配置しました。

(仮称) まちづくりコア・  
ステーション建設事業  
6億8,564万円



市民や市民活動団体などがつながり、連携、協力する協働の取り組みを推進するため、市民活動を支援する拠点施設整備を進めました。3月に工事が完了し、「まるむ」の愛称で5月に開館しました。